

「マルチステークホルダー方針」

マルハニチログループは、経営とサステナビリティを統合した中長期戦略の実施により、持続可能な地球・社会づくりと企業価値の最大化実現を目指しています。経営とサステナビリティの統合を推進するためには、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は中期経営計画において、持続的な成長のための経営基盤強化策の一環として、積極的な人材投資を掲げています。

企業活動の中で生み出された価値については、持続的な賃金の引上げとして従業員に還元するとともに、従業員の成長実感やキャリア形成、上司と部下の関係の質の向上に繋がるような各種施策を実行し、人材への適切な投資に努めています。また若手人材の抜擢登用が可能となる仕組みや、従業員のライフスタイルに応じた柔軟な働き方が可能となる制度も導入しており、従業員のエンゲージメント向上と生産性向上にも努めております。今後も様々な形で従業員への持続的な還元を進めていくことにより、当社が生み出す付加価値の最大化に貢献する人材を多数輩出できる体制づくりに努めてまいります。

(個別項目)

具体的には2022年改定の人事制度において、従来よりも年率+0.6%の賃上げとなる仕組みを導入して、従業員への還元を実現しており、今後も継続して、従業員の可処分所得増大に繋がる賃上げの実現を図る考えです。2023年には春季賃金交渉において一律1万円のベースアップを行い、定期昇給を含めて6.2%の賃上げを実施しました。人材投資としては、次世代人材を育成する研修として、「経営リーダー育成プログラム」「グローバル人材育成プログラム」「サクセッションプログラム」のそれぞれを運用しており、更には従業員の自律的な成長に資する人材育成施策の実行に努めてまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【令和5年3月20日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/25082-05-01-tokyo.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社の基本ミッションは、グループ理念に基づいた「社会から必要とされる、本物・安心・健康な『食』を提供し、人々の豊かなくらしとあわせに貢献する企業グループ」であることです。当社は、消費者志向経営を推進し、お客様の声を聴き、生かすこと、持続可能な取組を実現すること、法令を遵守し、お客様に価値ある企業であり続けるため、私たち一人ひとりが、その役割をしっかりと認識して行動します。

https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/sustainability/social_value/customer/consumer_oriented_management/

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和 5年 4月 3日

マルハニチロ株式会社

法人名

代表取締役社長 池見 賢

役職・氏名（代表権を有する者）